

愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター主催

第9回愛媛大学英语教育改革セミナー

「クラスルームアクティビティーとしての英語落語の実践」

英語の授業における、いわゆる「クラスルームアクティビティー」は、様々な工夫がなされています。例えば、e-Learning の利用といった ICT を活用したハイテク実践から、ドラマメソッドといわれる英語での演劇など、その方法は様々であります。

中でも、最近特に注目されているものに「英語落語」があります。比較的平易な英語表現で、相手に分かりやすく内容を伝える英語落語の技術は、英語教育においても有意義なものではないでしょうか。

そこで、今回の英語教育改革セミナーでは、英語落語のパイオニア的存在である文京学院大学の 大島希巳江先生をお招きし、『英語落語がなぜ海外で通じるのか』をテーマに、「英語落語」の背景や翻訳の仕方、海外での聴衆の反応、さらに、英語教育の教材としてどのように活用しているかなどについて、午前の部でお話いただきます。そして、ご講演の最後に、実際に「英語落語」を上演していただきます。また、午後の部では、英語小噺を参加者全員に体験・実践していただくワークショップを開催いたします。実践を通して、英語落語の醍醐味と教育実践へのヒントを掴んでいただきたいと思います。

一人でも多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。本セミナーを通して、参加者の皆様との意見交換の機会を持つことができればと思います。そして、本セミナーが皆様の日々の教育実践の工夫に、少しでも役立つことを願っています。

愛媛大学英语教育センター長
大賀 水田生

愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター主催

第9回愛媛大学英語教育改革セミナー

「クラスルームアクティビティーとしての英語落語の実践」

目的：英語落語や英語小噺を授業中のアクティビティーとしてどのように利用できるかを学ぶ。また実践型ワークショップを通して、その面白さを体感し、授業実践の工夫に役立てる。

日時：平成22年9月25日（土）10:20 - 17:05

対象：本学教職員、英語教員、学生、及び、一般

主催：愛媛大学 教育・学生支援機構 英語教育センター

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会（申請中）

会場：愛媛大学城北キャンパス 愛大ミュージズ 1階
アクティブ・ラーニング・スペース

[プログラム]

〈受付〉9:50-

【開会の挨拶】10:20-10:30 大賀 水田生（愛媛大学英語教育センター長）

【講演及び上演】10:30-12:00

「英語落語がなぜ海外で通じるのか」

大島 希巳江先生（文京学院大学）

《昼食休憩》12:00-13:00

【ワークショップ】13:00-16:40

「英語小噺に挑戦」 参加者全員

【講評】16:40-17:00

講評者：大島 希巳江先生（文京学院大学）

【閉会の挨拶】17:00-17:05 大賀 水田生（愛媛大学英語教育センター長）

司会：中山 晃（愛媛大学英語教育センター）

*定員は、50名までとなっております。なお、参加費は無料です。

【問い合わせ及び申し込み先】

愛媛大学英語教育センター

TEL/FAX: 089-927-8340 E-mail: eec_jimu@eec.ehime-u.ac.jp

ホームページ: <http://web.eec.ehime-u.ac.jp/>

※申し込みの際には、お名前、ご所属、お電話番号、午前・午後の参加についてお知らせください。メールでお申し込みの場合、件名は「英語教育改革セミナー 申込み」でお願いします。

ゲスト講師のプロフィール

大島希巳江先生（文京学院大学 准教授）

略歴

B.A. (University of Colorado at Boulder)

M.A. (青山学院大学)

Ph.D. (ICU)

専門: 社会言語学

その他: 英語落語プロデューサー

主要な著作等

2003年『「英語落語」傑作集 Rakugo in English』（電子書籍/研究社）

2006年『日本の笑い世界のユーモアー異文化コミュニケーションの観点からー』（世界思想社）

2008年『英語落語で世界を笑わす！』（研究社）

2009年『英語で小噺』（研究社）

その他多数。

<講演概要: 大島先生より一言>

コミュニケーションにおいて笑いが生じることは、人間関係を構築するのに不可欠な要素です。英語教育においても、覚えやすい、相手が笑うという肯定的な反応を示すので通じたという実感が持てる、日本文化を発信できる、など英語落語や英語小噺が貢献できる点はいくつかあります。是非楽しみながら、英語落語の面白さを体験してください。